



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」	を今やってみよう！
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2015 6 月間強調

評価・計画

今月の聖句 (担当 幸正一誠君)

これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたは世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。
 ヨハネによる福音書 16 章 33 節

6 月強調月間

今年度の活動目標がどこまで達成できたかを振り返り、達成と未達成の原因を探り、この振り返りの成果を次年度の活動に活かそう。
 松本武彦理事(大阪西クラブ)

6 月例会 プログラム

と き 2015 年 6 月 18 日 (Thu.) 18:30~20:30
 と ころ 金沢ニューグランドホテル
 会 費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000(メ nett)

司会 幸正一誠君

開会・点鐘 清水淳会長

主 題 司会者

ワイズソング 一同

今月の聖句 司会者

ハッピーバースデー 清水淳会長

ゲスト紹介 清水淳会長

食前の感謝 澁谷洋太郎君

スピーチ 清水淳会長

“2014-2015 年を振り返って”

委員会報告 各委員

ニコニコタイム 山本達也君

Y M C A の歌 一同

閉会・点鐘 清水淳会長

5 月 クラブ活動状況

第 1 例会 (5 月 21 日 Thu.)

メ ン : 朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水
 西、藤井、山内 (9 名)

出席率 : 90 %

メネット : 伊藤、数沢、澁谷 (3 名)

ゲスト : 本郷一郎氏 (1 名)

第 2 例会 (5 月 1 日 Fri.)

メ ン : 伊藤、数澤、澁谷、清水、山内 (5 名)

メネット : 数澤 (1 名)

ニコニコタイム

10,500 円

クラブファンド 累計 109,000 円

B F ポイント

切手 0 g 累計 300 g

現金 0 円 累計 14,100 円

会 長 清水 淳 書 記 山内ミハル
 副 会 長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信
 直前会長 幸正 一誠 ネット会長 数澤淑子

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

2014 年度を振り返って

清水 淳

幸正会長から引き継いだバトンを落とさず無事にトラックを1周しました。まだまだやり残したこともありもう1周することになりました。

富山クラブでの約6年間の会員歴こそあるものをしていずれば会長をやることになるだろうとは思ってはいたものの、この時期での会長就任は想定していませんでした。経験豊富な皆さんのサポートがある今ならばやっていけるだろうと思ひ大役を引き受けることにしました。

ワイズメンズクラブとの関わりは30数年前のリーダー時代までさかのぼります。YMCAのプログラムの企画運営に関わっていく中で、まだまだ「子供」のわれわれリーダーをバックアップしてくれていたのがワイズの「大人」の皆さんでした。いつかはあんな風にしてYMCAに関わっていきたいと思っていました。

富山クラブ時代は例会に参加するのが精一杯でした。金沢クラブに入会してまだ1年あまりではありませんが、クラブの運営というクラブ内のことに加えて外に出て行くことによる交流の楽しさも味わえるようになりました。積極的に「野望」と「大志」を持ってプログラムに参加することにより幸正前会長の昨年度のクラブ主題であった「多くのワイズと出会い、多くのワイズと握手を交わそう」は実践できたと思います。今年度滋賀蒲生野のクラブの例会を訪問することができました。来年度は仙台広瀬川クラブと大阪クラブの例会訪問、他地区の部会への出席を実現したいと思います。

他のクラブの方々とのあいさつが「はじめまして」よりも「おひさしぶりです」が多くなっていくこと楽しみのひとつです。

“Y's be ambitious!!” と大きな野望を掲げてスタートしたこの1年でした。

金沢まで新幹線が開通したように、「古いもの」に「新しいもの」を加えていくことを目指しました。「大きな野望」を達成したとまでは言えませんが、前期末に8人だったメンバーに藤井さん、朝倉さんが加わり10人になりました。

加えて出席率は100%を堅持しており、クラブの活動基盤は強固なものと言えます。さらに「野望」を持って、今後量的にも質的にも拡大を目指していきたいと思っています。

例会やプログラムに「志を持って」参加することも目標としました。毎月の例会だけでなく数々のプログ

ラムの際に語り合うことで今後のクラブ運営について会員の皆さんが「志を持って」プログラムに参加されていることが感じられました。

「このままではいけない」「何かをやらなければならない」という気持ちを全員が持っていると思います。できることから少しずつ始めていくこと。そのために全員の経験と知識を結集し実行に移していきたいと思っています。

金沢YMCA 70周年に向けて、その後に控える金沢クラブ70周年に向けてさらなる「大きな志」を持って取り組んでいきたいと思っています。

1年間新米会長を支えていただきありがとうございました。

来年度もよろしく願いいたします。

【5月例会報告】

5月例会には、中部合同メネット会でお世話になった「金沢彩の庭ホテル」の社長・支配人の本郷氏をお招きし、

“一周遅れのトップランナーに陽が当たる”

—金沢の観光の今と今後を考える—
と題してスピーチをお願いしました。

本郷氏は大学卒業後、新聞記者としての経験と、一流ホテルのトップとしての経験から、金沢だからできる、金沢でしかできない、品格があり、細かいサービスの行き届いた新しい感覚のホテルをオープンされました。金沢クラブでは4月、中部合同メネット会をこのホテルを会場に開催し、大変好評を博しました。



《スピーチの概要》

「金沢は誇り高い町だった。そのプライドがたとえ時代おくれの滑稽なものだったとしても、やはり並々ならぬ誇りを秘めた町だった」と、作家五木寛之著「金沢明かり坂」の一文を紹介し、2015年度の金沢ブランド力調査で、9割以上が金沢によりイメージを持つという。しかし金沢は一周遅れのトップランナー

だと本郷氏は言う。戦災に合わなかったことで、金沢の独自性は残ったが、バブル期にはアクセスの不利、国内交通網の未整備、根強い土着意識などが足かせになり、開発は進まなかった。全国の都市、観光地がバブル後遺症で悩み、すべてがミニ東京化して顔を無くす中で、国内外から「金沢こそ REAL JAPAN」の評価を受けた。「金沢は目利きの町や」「旅のもんにはわからん」などとうそぶいてくれた環境が、一周遅れたる所以であると。

京都と比較して「北陸の隠れ家」、「知る人ぞ知る町」、「通がいく古都」でありえた金沢が、北陸新幹線がその価値観を変えるのでは？と氏は懸念する。現在金沢が持つ影の部分が、北陸新幹線金沢開業で更に拍車がかかる可能性が大きいと彼は主張する。歴史的重層都市として過去層の保存継承も大切だが、当代層の創造的付加が必要で、ミニ東京や金太郎飴にならない努力をすべき。

意外とおもてなしが苦手な石川県にあって、ホテルの果たす役割に注目。ホテルは単に泊まるだけの機能を果たすわけではない。ホテルは一つの文化であり、発信機能を持つコアであるとの考えから、「金沢の上質な空間と時間を五感で体感できるホテル」をコンセプトに、金沢で暮らすように泊まる、「金沢の別邸」を想定できるホテル「金沢彩の庭ホテル」をオープンさせたという。

× × × × × ×

また、行きたくなるホテルであった。

(文責 山内ミハル)



幸正一誠君にお誕生日プレゼント

Happy Birthday

メン 伊藤 仁信君 6月3日
藤井三和子さん 6月23日



西 信之君にお誕生日プレゼント

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆ネパール地震被害援助について

4月25日に発生したネパール地震では、大きな被害が出ました。YMCAから援助の依頼が来ましたので金沢クラブでは5月と6月のニコニコタイムで集められたものを捧げることにしました。

☆第18回西日本区大会

日時：2015年6月13日(土)～14日(日)  
場所：ハイアットリージェンシー大阪  
参加予定：数澤、メット、澁谷、清水、西、山内

☆第26回アジア地域大会

日時：2015年7月31日(金)～8月2日(日)  
場所：ウェスティン都ホテル京都  
登録費：39,000円

☆第19回中部部会

日時：2015年9月26日(土)  
場所：名古屋市公館  
名古屋市中区三の丸3-2-5

7月の担当

聖句担当：澁谷洋太郎君  
ブリテン執筆：朝倉みゆきさん  
数澤 淑子さん  
卓話担当：清水 淳君

コーヒーはフルーツ！！

先日、東京で会合があり、特別講演で、株式会社ミカフェートというコーヒー会社の社長さんのお話を聞きました。その方は小さなコーヒー会社の息子として生まれ若い頃から世界中のコーヒー農園を回って農作業の仕事をし、コーヒー豆を研究されました。今では世界中の国々(ルワンダなど)でコーヒー豆を生産するのを助けたり、豆を日本に輸入し、おいしいコーヒーを作り、コーヒー豆を紹介する仕事をなさっているとのこと。

トルに入っている豆や、ドリッパックにされたものもあるようです。



日本では MUJI Cafe や東京大学でオフィシャルコーヒーとしても出されているそうです。来賓として安倍総理の奥様、昭恵夫人がいらしていました。会の終わりにその方が、お土産として、グランカフェのピンを差し上げていました。ランチの後、その方のコーヒーが出されましたが、一般的クラスのコーヒーであったのか期待していたほど感銘は受けませんでした。私はやはり紅茶派かなと思いました。

私も、主人もコーヒーの香が好きでしたが、飲んでもおいしいとは思わず、紅茶を飲むことが多い生活です。

その方も言われていましたが今までの日本のコーヒーはほとんどおいしくなかったとのこと。コーヒーはフルーツで熟したものは果汁が出るのだそうです。

その方の会社で扱っている一番おいしい頂点に立つコーヒーは、グランクリュカフェといってまるでシャンパンと同じようなビンに豆が炭酸ガスと一緒に入っているものだそうです。ビンを開けるとシャンパンと同じパンと音がしてガスが出るようです。次のクラスがブルミエクリュカフェといって、飛行機のファーストクラスでサービスされているそうです。一般的なのはコーヒーハンターズと言われるペットボ



でも一度はグランクリュカフェを飲んでみたいと今でも思っています。